

R6(4回生時)の履修可能科目について(学生周知版)

○連合教職実践研究科(教職大学院)で開講する科目のうち、下記に示す科目を、学部卒業見込み年度に履修することができます。

○研究科共通科目の中から、**最大10単位**を履修できます。

取得したとみなされる単位は、学部の卒業要件に必要な単位数には算入できません。教職大学院の入学後に、大学院修了要件の単位数として算入できます。

科目区分	名称	必・選必・選の別	単位数	キャンパス	開講ターム 曜日・時限	授業形態	授業の概要(到達目標)など
研究科共通科目	カリキュラムの編成原理とマネジメント	必	2	柏	T1水1・2	対・双	教育課程の編成原理とそれに関わる今日的課題を教授するとともに、カリキュラムをマネジメントするための原理と方法論を考察させる。
	学習指導の実践的展開	必	2	柏 天 柏	T1月3・4 T1月6・7 T1木4・5	対 デ・対・双 対	資質・能力を育成するための授業の実践的手法をその理論的背景と共に提示する。受講生はそうした実践的手法の特徴を実証的に分析、考察し、得られた知見を提案する。
	生徒指導と教育相談の実践的課題	必	2	柏 柏 天	T1月4・5 T1木4・5 T1金6・7	対 対 対・双	生徒指導と教育相談に関する基本的な考え方への理解を深める講義や演習を通して、教育現場で活用できる実践的指導方法について、主体的に考える機会を提供する。
	学校経営と学級経営の理論と実践	必	2	天	T2水6・7 T2木6・7	デ・対・双	学校経営と学級経営を捉える理論と、実践を分析する視点を解説する。 教職員や地域、教育委員会等との連携・協働のテーマを扱い、学校の教育活動の組織化の方策を考え、組織人として発想し実践する力を育てる。
	教育DXとSTEAMの理論と実践	必	2	柏 天	T1火3・4 T1水6・7	対・双 デ・対・双	・自身が学習を進める際や問題解決のひとつの方法として、教育DX(ICTの基本的な活用も含む)の考え方を活かすことができる。 ・STEAMに関し、自身が学び手となり問題解決過程を経験することで、STEAMを学ぶことの意義を自身の言葉で説明することができる。 ・学校教育においてSTEAMの視点を生かした授業について、提案と検証を行うことができる。 ・学習指導要領に示されている、学習の基盤となる資質・能力である情報活用能力や問題発見・解決能力の重要性を認識し、それらを意識した授業を提案することができる。
	外国にルーツのある子どもの教育Ⅱ※2	選必	2	柏 天	T3木6	双	外国にルーツのある子どもの教育をめぐる課題の背景要因や構造を説明する。 課題解決のために、多様な指導関係者との協働の中で求められる教員の役割と資質能力について解説し、モノの見方や判断基準の相対化を図る。
	子どもの貧困及び児童虐待の理解と教育実践	選必	2	柏 天	T2火3・4 T2金6・7	対 対・双	子どもの貧困と虐待が子どもの発達に及ぼす影響について講義する。また、具体的な事例や実践研究を踏まえ、児童虐待の防止と虐待を受けた子どもへの援助で大切なことは何かを受講生とともに考えていく。
	インクルーシブ教育の理論と実践 ※1	選必	2	柏 柏 天	T1火1・2 (時間外)	対 デ	特別なニーズのある子どもの教育をめぐる基本的課題と教育方法や研究方法について、特別支援教育学・特別支援心理学・特別支援臨床学の各専門分野から多角的に講義を行う。講義の内容は特定の障害種への支援教育や重複障害への支援教育だけでなく、それらの教育に必要な医療体制、障害理解、特別支援教育の理念なども含める。
	外国にルーツのある子どもの教育Ⅰ ※2	選	2	柏 天	T1木6	双	外国にルーツのある子どもの教育について、在籍学級で学級担任や教科担任が行う指導や支援の方法を説明する。 特に、学力形成を促す教科指導の方法を、指導案検討を通じて解説し、授業づくりの留意点を解説する。
	インクルーシブ教育の実現に向けた子どものアセスメントと支援	選	2	柏 天	T4水6・7	双 対	インクルーシブ教育の理念や障害の社会モデルを踏まえた上で、様々な援助ニーズのある子どもを支援していく際に必要となるアセスメント法や支援計画作成等について解説し、これらを受講者が獲得できるよう導く。

授業形態略文字 対:対面授業, 双:オンライン同時双方向配信, デ:オンデマンド

●授業の内容は上記の概要の他に、シラバス検索、授業公開に参加などを活用してください。

授業公開 URL https://osaka-kyoiku.ac.jp/academic/graduate_school/rengokyoshoku/candidate/event/jyugyokokai.html



<履修イメージ>

1~5限の対面授業は主に柏原キャンパス・6~7限の対面授業は主に天王寺キャンパスの開講になります。

第1ターム							
	1限	2限	3限	4限	5限	6限	7限
月			学習指導の実践的展開			学習指導の実践的展開	
火	インクルーシブ教育の理論と実践 ※1		教育DXとSTEAM教育の理論と実践				
水	カリキュラムの編成原理とマネジメント					教育DXとSTEAM教育の理論と実践	
木			生徒指導と教育相談の実践的課題			外国にルーツのある子どもの教育Ⅰ ※2	
金			学習指導の実践的展開			生徒指導と教育相談の実践的課題	

第2・3・4ターム							
	1限	2限	3限	4限	5限	6限	7限
月							
火			(T2)子どもの貧困及び児童虐待の理解と教育実践				
水						(T2)学校経営と学級経営の理論と実践 (T4)インクルーシブ教育の実現に向けた子どものアセスメントと支援	
木						(T2)学校経営と学級経営の理論と実践 (T3)外国にルーツのある子どもの教育Ⅱ ※2	
金						(T2)子どもの貧困及び児童虐待の理解と教育実践	

参考：教職大学院の修了に必要な単位数

科目区分	修了要件に必要な単位数
研究科	必修 16
共通科目	選択必修 4
	選択 ※選択科目として計6単位
学校実習科目	10
コース科目	必修 6
	選択 ※選択科目として計6単位
課題研究科目	4
計	46

●教職大学院修了に必要な研究科共通科目 20 単位のうち、最大 10 単位分の科目を、大学 4 回生時に履修できます。
●研究科共通科目の他、一部のコース選択科目も先取り履修の対象となります。合算して、最大 10 単位までの範囲で可能です。

※1 「インクルーシブ教育の理論と実践」は、T1 火 1・2 限の授業内容の録画配信をオンデマンド科目(時間割外に配置)としても開講します。

※2 木 6 限に加えて、数回の土曜日授業(オンデマンド授業を含む)があります。